

未来につなぐ

公共施設を考えるワークショップ

提言集

平成31年3月

## 【目次】

1. ワークショップの概要・・・・・・・・・・・・・・・・p1
2. 各グループの提言内容・・・・・・・・・・・・p3
3. ワークショップだより（第1～3号）・・・・p7

# 1. ワークショップの概要

## ① 目的

本市の公共施設を取り巻く現状や課題を踏まえ、公共施設再編の必要性を市民にご理解いただくとともに、行政サービスのさらなる充実に向けた今後の公共施設のあり方を市民と一緒に考え、その結果を「弥富市公共施設再配置計画」策定の参考とするため。

## ② 検討の視点

公共施設の適正配置等を検討するにあたり、施設の老朽化や効率化の観点だけでなく、少子高齢社会に対応した「サービスの向上」と将来世代への負担を軽減する「コスト縮減」の両立に向けて、これまでの行政の枠にとらわれない柔軟な発想で、より魅力のあるまちを目指す。

## ③ 参加者

相磯 直樹	久野 仁	中山 貴昌	山本 亮翔
伊藤 弘之	小島 教志	林 茉莉	横井 俊洋
伊藤 美咲	小林 登	樋口 久	横井 理雄
稲垣 陽光	齋藤 司	増子 大殊	
梅野 美香	佐藤 成男	三浦 俊之	
葛西 博昭	佐藤 仁志	村井 涉	
加藤 明由	鈴木 裕一	村尾 榛華	
加藤 幹夫	寸田 充紘	安井 映理子	
釜田 祥吾	立本 奈々	山口 和博	
鬼頭 克己	戸谷 辰男	山田 耕作	
			計33名

## ④ ファシリテーター

名古屋大学大学院工学研究科 恒川 和久（つねかわ かずひさ）准教授  
※運営協力に、同研究室学生2名

## ⑤ 日程等

### 第1回

平成31年1月26日（土） 13:30~16:30

#### ・講義

「公共施設を取り巻く現状について」 恒川准教授

#### ・講義

「本市の公共施設マネジメントに関する取組と公共施設の現状について」  
総務部秘書企画課

#### ・グループワーク

- ・ 弥富市の魅力や課題をグループ内で共有。
- ・ 魅力を伸ばしつつ、地域の課題を解決するために公共施設を使ってなにができるかを検討。今後、グループで取り組むテーマを決定。

### 第2回

平成31年2月9日（土） 13:30~16:30

#### ・講義

「市財政の現状について」 総務部財政課

#### ・第1回振り返り

#### ・グループワーク

- ・ 第1回で決めたテーマに関係する施設の位置や築年数、利用者数、類似施設等の確認。分析した結果、抽出された課題やその解決策を検討。

### 第3回

平成31年3月2日（土） 13:30~16:30

#### ・講義

「公共施設再配置・再編の事例」 恒川准教授

#### ・第2回振り返り

#### ・グループワーク

- ・ テーマとなることを実施するメリットや課題、留意点を検討。
- ・ 検討結果（成果）をまとめ、市への提言を作成、発表。

※いずれも会場は市総合社会教育センター

## 2. 各グループの提言内容

### 【Aグループ】

テーマ	社会福祉法人で解決～子どもも高齢者も安心して赤字解決～ 「南部保育所の廃止と桜保育所の民間移管」
内容	<p>○市が毎年約2億円の赤字という財政難の状況だからこそ、市保有施設の中でも維持コストの高い保育所に注目し、建物も古く、立地も悪い南部保育所を廃止し、桜保育所を民間へ移管する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・南部保育所は、ただ廃止するだけではなく、立地条件やバリアフリーが整っていることを活かして、老人ホームへ機能転換を行う。</li><li>・桜保育所の民間移管については、市民が民間保育所の選択肢がなく、わざわざ市外へ通わせている方も多い状況である。民間保育所を増やすことにより、通所先の選択肢が増えるとともに、市外から人が来ることで市の活性化に繋がる。 移管先については、事業者プレゼンを行ってもらい、市民（通所させているもしくは、通所予定の母親）の投票によって決める。</li></ul> <p>○これらの老人ホームと保育所の経営を社会福祉法人へ移管する。</p>

## 【Bグループ】

テーマ	<p style="text-align: center;"><b>栄南オシャレ化計画</b></p> <p style="text-align: center;"><b>「南部コミュニティセンターを中心とした施設や機能の集約化」</b></p>
内 容	<p>○栄南地区の施設を全て南部コミュニティセンター周辺に集約し、人の集まり（賑わい）を創出する。ただ施設を減らすだけではなく、地域経済の活性化に繋げる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 栄南保育所 ⇒ 栄南児童館に移転する。</li><li>・ 栄南児童館 ⇒ 栄南小学校内に複合化する。</li><li>・ のびのび園 ⇒ 南部コミュニティセンターに複合化する。</li><li>・ 栄南小学校で一般の方も給食が食べられるサービス（給食カフェ）を実施。空き教室は、地域サークルの利用スペースとして活用する。</li><li>・ 南部コミュニティセンターでは、フリーマーケットやマルシェ、フェスなどのイベントを実施する。カフェスペースや図書スペース、ネット環境なども充実させて、大人から子どもまで集まる栄南地域の多世代交流拠点とする。</li></ul> <p>○南部コミュニティセンターにブランド価値を創り出し、地域の人々が胸を張って市外へ発信できる場とする。</p>

## 【Cグループ】

テーマ	コミュニティ単位の見直し及び統合のステップアッププラン ～モデル事業としての十四山地区の拠点総合計画～ 「十四山地区の施設やサービスの見直し」
内容	<p>○三ツ又池公園周辺に保育所、小・中学校を集約（子宝グラウンドの土地を活用）し、小・中学生の通学はスクールバスを運行する。登下校の時間はスクールバスとして、その他の時間帯はコミュニティバスとして運行する。</p> <p>○十四山総合福祉センターを市民や観光客に一般開放し、カフェの併設や月一マルシェを開催する。福祉事業は継続して行いつつ、ロケーションを活かした施設の活用を行う。</p> <p>○十四山支所は、消防指令室もあるので消防拠点化し、空きスペースがあれば商工会の事務所を受け入れる。十四山スポーツセンターは、現状、スポーツに限ったイベント及びその利用に限られているので、利用の制限を外し、アリーナをイベントホール化する。そこで民間イベントを誘致し、商工会が主体となってイベント運営のサポートを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・十四山東部小学校⇒ 十四山スポーツセンターの第2駐車場として活用する。</li><li>・十四山西部小学校、十四山中学校 ⇒ 一方は売却、もう一方は地域活動拠点に改築する。</li></ul> <p>○削減するだけでなく、市の収入を増やすことも検討する。</p>

## 【Dグループ】

テーマ	コンパクトシティのコアをつくる！！ 「北部地域の将来を見据えた施設再編案」
内 容	<p>○将来、人口増加の時代が訪れる可能性を考慮して、必要性の高い施設はそのまま残し、必要性の低い施設は廃止する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 産業会館、農村多目的センター、歴史民俗資料館、市民プールは取り壊しを行い、新庁舎完成に併せて、効率的な施設の集約を行う。</li><li>• 図書館棟は、PFI(※)で歴史民俗資料館、観光協会、商工会、市観光課、地域活動ボランティアセンターなど、市の魅力を発信する施設へ機能転換する。(弥富を知るセンター(仮))</li></ul> <p>○施設をただ減らすだけではなく、その先にもう一度ジャンプアップするためのコアを作る。</p> <p>※PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ） 公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うこと</p>

# 「未来につなぐ公共施設を考える」 ワークショップだより

## 第1回未来につなぐ公共施設を考える ワークショップが開催されました！

弥富市公共施設再配置計画の策定に向けて、市民の皆さまが真に求める行政サービスを把握するとともに、今後の公共施設のあり方について意見をいただくことを目的に、ワークショップを開催しました。(全3回)

第1回目では、29名の参加者の方がA～Dの4グループに分かれ、ファシリテーターの名古屋大学大学院の恒川准教授と研究室の学生さんも加わり、住み続けたいまちにするにはどうすればよいのか、いろいろな意見を出し合いました。



平成31年1月26日(土)  
総合社会教育センター 第2会議室  
13:30～16:30

### 公共施設マネジメントを取り巻く現状について

恒川准教授から、全国的な施設の急速な老朽化や人口減少と少子高齢化、厳しい財政状況といった公共施設に関わる問題についての説明がありました。公共施設マネジメントは、まちづくりの一環として行うことが重要であることから、弥富市の強みを生かしつつ地域の課題を解決するために、市民ニーズの実態に根付いた公共サービスのあり方を考え、市民参加による施設整備のルール作りをすべきとの話がありました。

### 公共施設マネジメントに関する弥富市の取組みと公共施設の現状について

市の担当者からは、弥富市におけるこれまでの公共施設マネジメントに関する取組みや、公共施設の保有量、将来人口の推計結果、現在の財政状況についての説明を行いました。弥富市の人口規模に合わせた公共施設の見直しを行うために、ワークショップを通して行政と市民の目的意識を共有し、公共施設再配置計画に意見を反映させたいとの意向を示しました。

## グループワークの様子 ～テーマ決め～

弥富市の良いところや問題点を挙げながら、公共施設を使って何ができるかについて話し合いました。最後に、今後のグループワークで取り組むテーマについて発表を行いました。

**A**

グループ



○防災

避難所を集約すべき。

○集約

学校はみんなが納得できる編成に。

子育て支援施設、コミュニティ施設は民間との共働により良い施設に。

○交通

バスは、将来を見据えた運営をすべき。

**B**

グループ



○地域拠点の複合化

施設を縮減させるのではなく、必要な施設を集約させることで、人が地域に集まるようになる。

また、小学校などの空きスペースを活用することで、多世代間のコミュニケーションの場を作ることができる。

**C**

グループ



○人が集う駅前開発

開発中の駅前がよりよいものになるよう、市民目線で改めて考える。

○コミュニティの充実

弥富市全体で交流が図れるような施設のあり方を考える。

○次世代の為の教育施設

未来につながる施設のあり方を考える。

**D**

グループ



○機能の集約とアクセス

機能を集約した施設をつくり、合わせてバス等の公共交通を充実させるべき。

○民間という選択肢とバランス

保育所等で民間運営によるメリットを活かしつつ、公共で必要なものは残す。

○南側をもっと魅力的に！

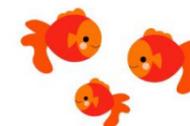
南側も住みやすい地域にすべき。

### 次回のワークショップのご案内

「第2回 未来につなぐ公共施設を考えるワークショップ」

日時：平成31年2月9日(土) 午後1時30分～

場所：総合社会教育センター 2階 第2会議室



<「未来につなぐ公共施設を考える」ワークショップだより 第1号> 平成31年1月発行

【お問い合わせ・連絡先】

弥富市 総務部 秘書企画課 TEL:0567-65-1111 FAX:0567-52-3276

# 「未来につなぐ公共施設を考える」 ワークショップだより

## 弥富市の未来につなぐ公共施設を 考えるワークショップを開催しています！

弥富市公共施設再配置計画の策定に向けて、市民の皆さまが真に求める行政サービスを把握するとともに、今後の公共施設のあり方について意見をいただくことを目的に、第2回ワークショップを開催しました（全3回）。

第2回では、23名の方が参加され、ファシリテーターの名古屋大学大学院の恒川准教授と研究室の学生さんと共に、前回の振り返りやグループワークを行いました。今回は、新たなアイデアを出すためにグループのメンバーの一部が入れ替わり、一つのテーマを掘り下げて議論しました。



平成31年2月9日（土）  
総合社会教育センター 第2会議室  
13:30~16:30

### 第1回ワークショップの振り返り

恒川准教授から、第1回ワークショップの振り返りがありました。第1回では、弥富市の良いところや問題点を挙げながら、公共施設を使って何ができるかについて話し合い、今後のグループワークで取り組むテーマについて発表を行いました。第2回では、それらのテーマを各グループで一つに絞り、関係する施設や場所について分析（利用者数や築年数、近隣施設等の確認）しながら、その課題や解決策を検討することにしました。

### 弥富市財政の現状について

市の財政課長から、弥富市財政の現状について説明を行いました。近年の弥富市の財政状況は厳しく、平成23年度以降、実質約2億円の赤字が続いており、財政調整基金（計画的な財政運営を行うための貯金）も減少を続けています。今後、持続可能な財政運営を行っていくためには、補助金・扶助費の見直しを図るとともに、アセットマネジメントを導入し、公共施設や地域公共交通のあり方を検討していく必要があります。



## グループワークの様子 ~テーマの選定、課題と解決策の検討~

第1回で決めたテーマを一つに絞り、関係する施設や場所について分析しながら、その課題や解決策について話し合いました。最後に、議論の結果について発表を行いました。

### A グループ



#### 「保育所の再編と民営化」

南部保育所は、建物が古く立地も悪い  
ため、ひので保育所と桜保育所への分散  
を検討する。

- ・ひので保育所：立地が良いため、避難拠点としての活用を検討する。
- ・桜保育所：民間委託を検討し、市の子育て支援施設の拠点とする。

### B グループ



#### 「地域拠点の複合化」

- ・南部コミュニティセンターを複合化し人が集まるような施設を検討する。
- ・各拠点でまちづくり委員会を設置し、コミュニティを活性化させる。
- ・地域活動を活性化させる。事務局は老若男女で構成し、多世代の交流を図る。

### C グループ



#### 「コミュニティ単位における各施設の見直し及び統合のステップアッププラン」

コミュニティを意識して、段階的に各施設の見直しを行う。

- 1：集会施設を中心に、コミュニティエリア内での施設の統合を検討する。
- 2：次世代のために、学区編成や学校のあり方を検討する。

### D グループ



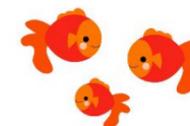
#### 「施設の集約化・多目的化~コミュニティが大切~」

北側と南側でそれぞれ拠点となるような施設を検討する。

- 北側：①不要施設の売却も視野に入れる。  
②空き施設の高度利用を考える。
- 南側：①学区は崩さない。  
②集約化後のアクセス問題を考慮。

### 次回のワークショップのご案内

「第3回 未来につなぐ公共施設を考えるワークショップ」  
日時：平成31年3月2日（土） 午後1時30分~  
場所：総合社会教育センター 2階 第2会議室



<「未来につなぐ公共施設を考える」ワークショップだより 第2号> 平成31年2月発行

【お問い合わせ・連絡先】

弥富市 総務部 秘書企画課 TEL：0567-65-1111 FAX：0567-52-3276

# 「未来につなぐ公共施設を考える」 ワークショップだより

## 弥富市の未来につなぐ公共施設を考える ワークショップが最終回を迎えました！

弥富市公共施設再配置計画の策定に向けて、市民の皆さまが真に求める行政サービスを把握するとともに、今後の公共施設のあり方について意見をいただくことを目的に、第3回ワークショップを開催しました（全3回）。

最終回では、20名の方が参加され、ファシリテーターの名古屋大学大学院の恒川准教授と研究室の学生さんと共に、前回の振り返りやグループワークを行いました。今回は、第2回で決めたテーマを掘り下げ、そのテーマとなることを実施するメリットや課題、留意点などについて意見をまとめ、市への提言として発表を行いました。



平成31年3月2日（土）  
総合社会教育センター 第2会議室  
13:30~16:30

### 第2回ワークショップの振り返り

恒川准教授から、第2回ワークショップの振り返りがありました。第2回では、各グループ、テーマを一つに絞り、関係する施設や場所について分析しながら、その課題や解決策について検討しました。第3回では、テーマを具体的に掘り下げ、そのテーマとなることを実施するメリットや課題、留意点などについて、学区別の施設整備状況や施設運営費等の資料を参考にしながら検討することにしました。

### 他自治体における公共施設再配置・再編の事例

恒川准教授から、他自治体における公共施設再配置・再編の事例について説明がありました。地域単位で施設再編プロジェクトを実施し、地域拠点を創出した事例や、少子化により廃校となった小学校を図書館やコミュニティカフェ・体育館等の複合施設として改築した事例、公立保育所を民間へ移管し、幼保連携型の認定こども園とした事例などが紹介されました。



## グループワークの様子 ~各テーマにおける再配置方針の提言~

第2回で決めたテーマを具体的に掘り下げ、そのテーマとなることを実施するメリットや課題、留意点などについて話し合いました。また、公共施設の規模を縮減しながらも、サービスを充実させるためにはどうすべきなのかを考え、意見をまとめた結果を市への提言として発表しました。



### 「社会福祉法人で解決~子どもも高齢者も安心して赤字解決~」

#### グループ

- ①弥富市は財政難であり、毎年2億円の赤字が発生している。
- ②維持コストの高い保育所に注目。
- ③立地・施設データから南部保育所の廃止・桜保育所の民間移管（こども園化）  
→民間施設を増やすことにより、通所先の選択肢が増えるとともに、市外から人が来ることで市の活性化につながる。
- ④南部保育所跡地を老人ホームにする。
- ⑤社会福祉法人で保育所・老人ホームを運営する。



### 「栄南オシャレ化計画」

#### グループ

- 南部コミュニティセンターを中心とした施設や機能の集約化を行う。
- 栄南保育所は栄南児童館へ移転、栄南児童館は栄南小学校に複合化する。複合化した小学校は一般市民が給食を食べるイベントなどを開催し、地域の人でも利用可能な施設とする。
- のびのび園は、南部コミュニティセンターに複合化する。複合化後は、マルシェやフェスなどを開催し、市内外から人を集める。



# C

## グループ

### 「コミュニティ単位の見直し及び統合のステップアッププラン」 ～モデル事業としての十四山地区の拠点総合計画～

- ①三ツ又池周辺に教育ゾーンの創出
  - ・新たな拠点として、保育所、小・中学校を集約した一貫校をつくる。
- ②施設開放
  - ・福祉センターの利用転換を行い、カフェやマルシェを設置し、一般開放する。
- ③バスのハブ化
  - ・市の拠点間をバス（有料）でつなぎ、交通ネットワークを強化する。
- ④移設後の各施設の利用方法
  - ・十四山支所を消防拠点化し、商工会を設置する。
  - ・十四山スポーツセンターのアリーナを活用し、様々なイベントを開催する。



### 安藤市長の講評

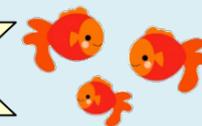
全3回の熱い熱いワークショップ、本当にお疲れ様でした。全体を通じて、とてもいいご意見をいただくことができました。その地域を一番よく知る人たちでまちを作っていけば、より良いまちになっていくと思います。市民の皆様や職員、議員の皆様と対話をし、良いまちづくりを行っていきたいと思います。



### 恒川准教授の講評

今回のグループ発表を聞いて感動しました。公共施設を縮減することは後ろ向きな事に捉えられがちですが、皆さんの発表を聞いてみると、前向きな意見が多く、非常に明るい未来が見えてきそうな気がします。ワークショップを通じて、公共施設の再配置に関するより具体的な提案をいただきましたので、市の方でぜひ計画に反映してほしいと思います。

### 記念撮影



ワークショップの結果は、3月25日（月）に提言集として市長に提出される予定です。

# D

## グループ

### 「コンパクトシティのコア（北側）をつくる!!!」

- ①破壊
  - 産業会館、農村多目的センター、歴史民俗資料館、市民プールを中心に、不要な施設はなくす。
- ②収束
  - 歴史民俗資料館の機能と観光協会・観光課を図書館棟に集約し、効率的に弥富の魅力を発信する。
- ③創造
  - 北側の人が集まる拠点とするために、産業会館（商工会）の機能を図書館棟に複合化し、「弥富を知るセンター」として、PFIによって運営を行う。



<「未来につなぐ公共施設を考える」ワークショップだより 第3号> 平成31年3月発行

【お問い合わせ・連絡先】

弥富市 総務部 秘書企画課 TEL: 0567-65-1111 FAX: 0567-52-3276